



この事業は、日本財団、株式会社Maenometryの支援により実施しています。



アスリート先生 学校派遣事業

Challengers Academy 実施レポート

2025年1月20日(月)
港区立小中一貫教育校 赤坂学園
赤坂小学校
中川聴乃 先生 (バスケットボール)



赤坂スポーツクラブ 運営事務局
一般社団法人FELICEスポーツクラブ

チャレンジャーズアカデミー 実施にあたって

IMD(国際経営開発研究所)が発表した「世界競争力年鑑2024」によると、ビジネス分野における近年の日本の『世界競争力』は大幅に落ちており、今後、日本ではグローバル社会で活躍できる人材の育成が急務であるといえます。

そこで、海外を経験したアスリートが、日本の未来を担う子どもたちへ自身の経験や想いを子どもたちに伝えることで、夢やチャレンジ精神をもつことの大切さを知ってもらい、国際社会での活躍を意識してもらえるよう、アスリート先生による学校授業プログラム「チャレンジャーズアカデミー」を立ち上げました。

いくつもの困難を乗り越え、自身の夢や目標に向かい、世界を舞台に挑戦してきたアスリートたち「チャレンジャーズ」のこぼれ話や経験は、子どもたちに気づきをもたらし、勇気を与える力があると信じています。

同時に、学校教諭の指導力向上や働き方改革の一助となること、また、アスリート達の社会貢献の場となり、セカンドキャリア支援となる仕組みを生み出すことを目指します。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。

「チャレンジャーズアカデミー」でのふれあいの中での学びが、子どもたちが今後国際社会に出て、人生を歩んでいくにあたり、活かせる資質や能力を育み、また、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフを送り健康的な人生を送るきっかけとなることを期待しています。

1. 実施概要



【事業名】 チャレンジャーズアカデミー

【主 催】 一般社団法人FELICEスポーツクラブ

【支 援】 公益財団法人日本財団 【協 賛】 株式会社Maenomery

【日 程】 2025年1月20日(月)

【実施校】 東京都港区立小中一貫教育校赤坂学園(東京都港区赤坂9-2-3)

【目 的】 海外を経験したことのある元アスリート＝「チャレンジャー先生」が教師役となり運動と講義の授業を実施し、子どもたちへアスリート自身が海外に出たきっかけや、どのように語学やコミュニケーション能力を身に付けたのか、また海外で遭遇した困難をどう乗り越えたかなど、自身の経験を伝えることで、子どもたちが国際感覚を養い、将来世界を舞台に活躍することを意識するきっかけをつくります。

【チャレンジャー先生】 中川聡乃先生（元バスケットボール女子日本代表）

【実施クラス】 小学5年生(3クラス) 78名

※対象学年、クラスは学校からの希望を受け決定

【実施方法】

運動と講義の2コマ1セットの授業を、クラス単位または学年単位で実施

- 運動の時間 チャレンジャー先生自身の競技・トレーニングを実践し、その競技に親しむとともに、スポーツの楽しさを知ってもらいます。
- 講義の時間 目標を達成させるためにしたこと、海外での困難にどう乗り越えたかなど、先生自身の経験や想いを伝え、生徒に国際社会で活動することについて考えてもらいます。
- アンケート・フィードバック 受講生にアンケートを回答してもらい、授業の効果を測定します。先生への質問や生徒へのアドバイスがあればフィードバックします。記念写真シートを受講生全員へ贈呈します。

2. 授業構成（運動の時間） ※50分

①自己紹介～授業の目的を確認（5分）

- ・自己紹介(名前、競技歴、今の活動など)
- ・今日の授業の目的を伝える



②準備運動（10分）

- ・ウォーミングアップ、ストレッチ、体操など実施
- ※自身の競技の特性を活かしたウォーミングアップを行う
- ※怪我予防のため、動きの効能・目的を伝える



③主運動（30分）

- ・目標に向かって仲間と協力し合い努力すること、その達成感とスポーツの楽しさを感じてもらえるよう、効果的に声掛けをする
- ※目標設定と作戦会議の時間を設ける



④まとめ（5分）

- ・子どもたちが良く考えたこと、努力をした点を評価する
- ・次の授業は教室のため、移動を促す



⑤記念撮影

※授業の最初や最後

- アスリート先生による競技のパフォーマンスを披露
- ⇒子どもたちに、世界で戦ったアスリートの凄さを知ってもらう



2. 授業構成（講義の時間） ※50分

① 自己紹介・自身の国際経験の話（30分）

自己紹介

- ・選手時代の写真やスライドなどを用いて自己紹介
- ・簡単なプロフィールを配布または黒板に掲示
- ・現役時代にプレーした国、遠征で滞在した国の情報



国際経験の話

以下のテーマのうち**最低2つ**を入れて話します。

- ◆海外に出たきっかけ、現地でどのようにコミュニケーションをとれるようになったのか
- ◆海外で遭遇した困難とは？それをどう乗り越えたか？
- ◆日本と海外の違い、海外でびっくりしたこと
- ◆海外を経験してよかったこと、どのような強みができたか
- ◆海外に出て感じた日本の良いところ、もっとこうした方が良いと思うところ

② グループワーク・発表（10分）

①で先生の話聞いたうえで、子どもたちが感じたことを話し合い、国際社会に出ること、語学の習得、将来の目標など、自身のことにあてはめ考えられるように気づきを与えることを目的とします。

グループに分かれ、それぞれ感じたことを出し合う(5分)

↓
各グループの代表者が話し合ったことをまとめ発表(5分)



③ 授業のまとめ（5分）

各グループの発表を受け、チャレンジャー先生が生徒へのメッセージ、アドバイスなど、この授業で一番伝えたかったことを最後に伝えます。



授業後 アンケート回収・記念撮影シートの送付

- ◆授業終了後 ⇒受講後のアンケートに回答(生徒全員) ※担当教諭より事務局へ提出
- ◆約1か月後 ⇒記念写真シートを生徒全員へ贈呈

3.授業レポート① 運動(50分)

【日 程】 2025年1月20日(月) 1時間目～3時間目 (5年生3クラス)
【チャレンジャー先生】 中川 聡乃 先生(元バスケットボール女子日本代表)

自己紹介・準備運動



先生の自己紹介と授業の目的を共有。バスケットボールを知ってもらい、クラスメイトと一緒に試合を楽しむことを、中川先生から伝えました。



準備運動は、2人1組の対面鬼ごっこ。相手の背中をタッチしたら勝ちです。カラダをほぐすとともに、姿勢を低くして逃げる、またタッチするのにも、瞬発力が必要です。

主運動 (ドリブルじゃんけん、シュート練習、ミニゲーム)



「ドリブルじゃんけん」ドリブルをしながらコースを進み、中継時点で出会った相手とじゃんけんをし、勝ったら次へ進めるゲーム。楽しむ要素を入れながら、ドリブルの練習を行いました。



4箇所あるゴールをまわり、シュートを打つ練習。ゴールに入っても入らなくても、まずはシュートを打つ感覚をつかみます。



男女混合で試合を行いました。バスケットボールの試合をはじめとするという生徒もいましたが、チーム全員で積極的にパスを回し、ゴールを目指す姿が印象的でした。



運動の授業の最後は、中川先生と生徒代表者とのフリースロー(シュート)対決。中川先生のシュートはいくつも決まり、もちろん、3クラスとも勝利。元日本代表の実力を見せていただきました。

3.授業レポート② 講義(50分)

【日程】2025年1月20日(月) 4時間目 5年生3クラス(78名)
【チャレンジャー先生】中川 聴乃 先生(元バスケットボール女子日本代表)

先生の経歴・海外での挑戦の話



小学生の時に、そろばん塾で日本代表になりアメリカに渡ることを目標に定め、見事達成させたことや、「日本一になる」という夢を叶えるために学校を転校し日本一を成し遂げたことなど、常に目標を定め、それを達成させるために行動を起こしてきた経歴は、子どもたちにとっても刺激を与えてくれました。また、プロ選手時代は怪我により挫折を味わったものの、家族の支えなどで立ち直ることができたエピソードも披露いただきました。

質疑応答、授業の感想発表



質疑応答では、小学生の頃取り組んでいた習い事(水泳、バレエ、そろばん、バスケ)や、小学5年生以降、身長がどのくらい伸びたか(約30センチ)など、素朴な疑問にも答えていただきました。また、バスケットボールの好きなのところはどこか?という質問に対しては、「スポーツ全般が好きで、なぜなら勝負がつくから」と、「勝つこと」にこだわる中川先生の人柄がみえました。

先生からみんなへメッセージ

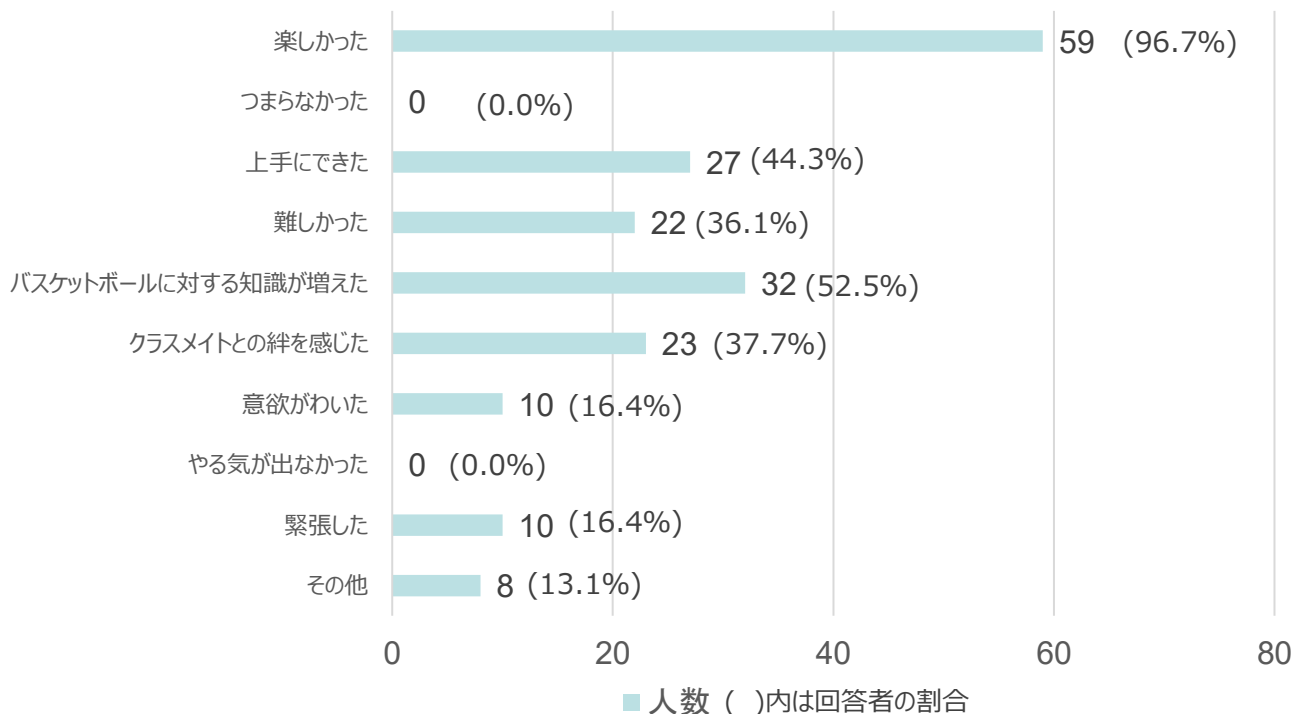


良い時も悪い時も、少しずつ「前進」することで人生が開けてきたという中川先生。子どもたちにも、辛い時や困難に遭遇したときは、立ち止まってもいいから、一步一步、少しずつ前に進むことは出来るはず、小さな目標を少しずつクリアして何事にもチャレンジしてほしい、というメッセージをもらいました。

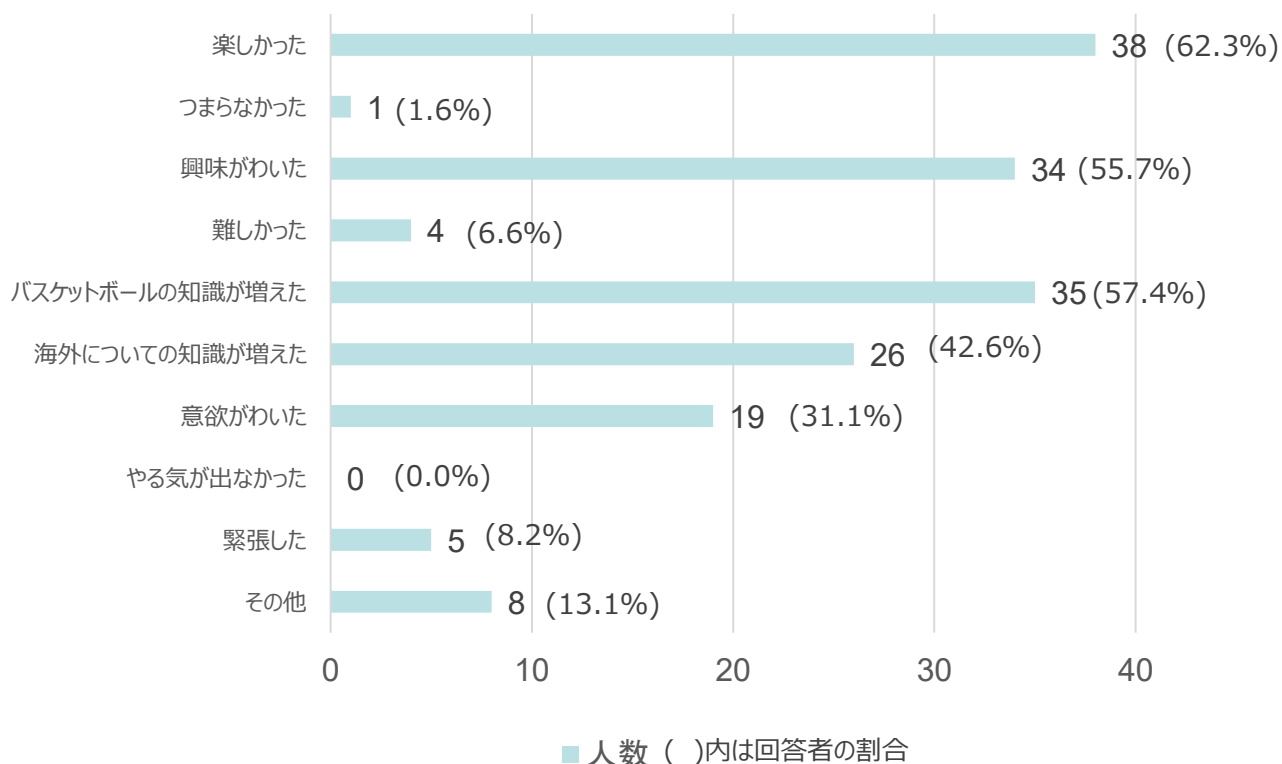
4. 受講者アンケートの結果①

回答者：小学5年生 61名

Q1 バasketボールの授業の感想（複数回答可） ※必須回答



Q2 講義の授業の感想（複数回答可） ※必須回答

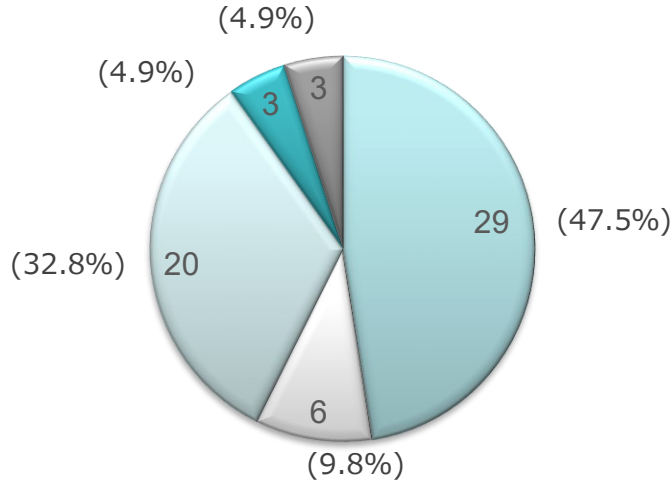


4. 受講者アンケートの結果②

回答者：小学5年生 61名

Q3 あなたは将来または近い未来の夢や目標をもっていますか？（どれか一つ） ※必須回答

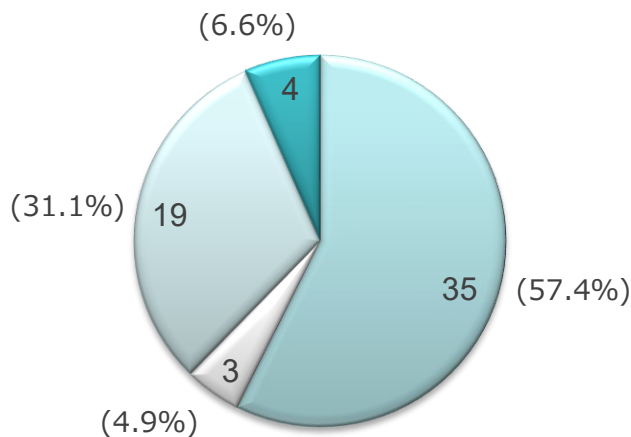
人数(割合)



- 将来の夢・目標をもっている
- 近い未来(3年以内)の夢・目標をもっている
- 考え中
- ない
- わからない

Q4 (将来または近い未来の夢・目標がある方) 達成に向けて取り組んでいることはありますか。

人数(割合)



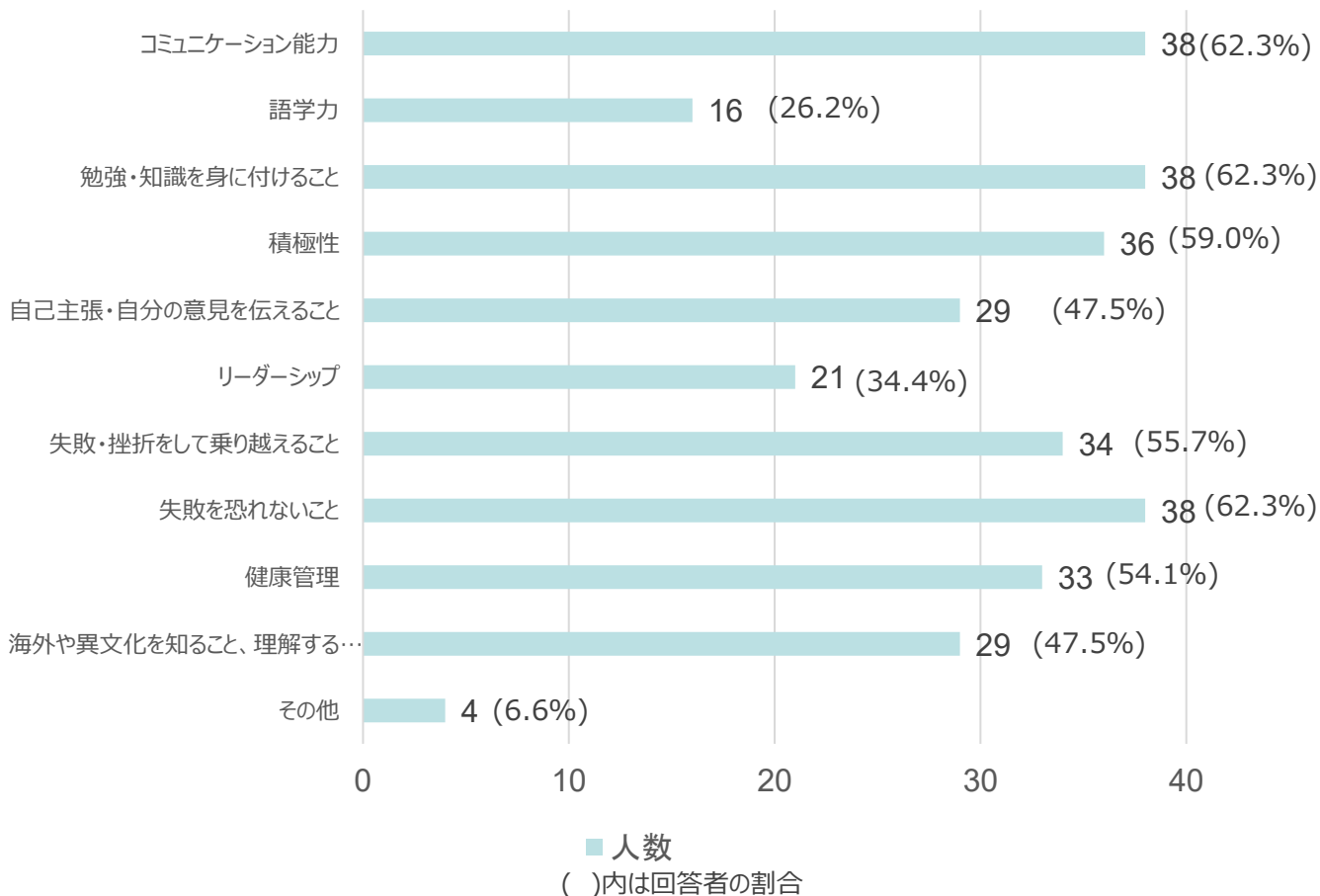
- ある
- 何をしたらよいのかわからない
- 何をしたらよいのか考え中
- ない

4. 受講者アンケートの結果③

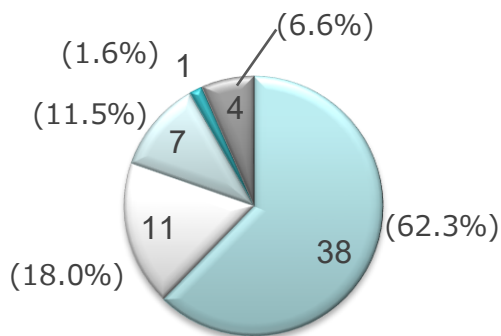


回答者：小学5年生 61名

Q5 本日の授業を受けて、大切だと思ったことは何ですか?(複数回答可) ※必須回答



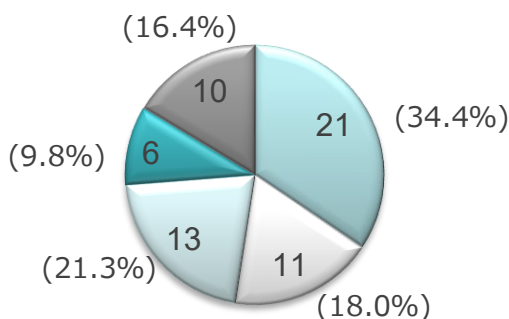
Q6 スポーツは好きですか?



人数(割合)

- 好き
- どちらかという好き
- どちらでもない
- どちらかという嫌い
- 嫌い

Q7 英語や外国語の勉強は好きですか?



人数(割合)

- 好き
- どちらかという好き
- どちらでもない
- どちらかという嫌い
- 嫌い

4. 受講者アンケートの結果④

回答者：小学5年生 61名

Q8 中川聡乃先生へメッセージ（一部抜粋）

挫折や失敗を乗り越えて選手として活躍できているのはすごいなと思いました。また、バスケットボール選手でしたが今はモデルや商品開発にも励んでいるとおっしゃっていましたがバスケットボールとは全く違う道を歩んでいるということもすごいなと思いました私も積極的に行動したり、思い切って自分の意見を言うてみたりなど、様々な挑戦をしたいなと中川聡乃先生の経験やお話から思いました！

今日はバスケットボールのことや失敗を恐れないという大切さなどを教えてくれてありがとうございます。
今日はバスケットボールも楽しむことができました。

講演会をきいてバスケットボールがどのようなスポーツでどのようなことをするのがわかりました。
また、聡乃先生は失敗や挫折を乗り越えて試合にも出場して頑張ることがすごいと思いました。

今回、大切な時間を使って、バスケットボールを、私たちに教えてくれてありがとうございます！今回習ったことを、色々なことに活かしたいです！身長が伸びる方法やってみたいです 😊 中川聡乃先生の、選手への、苦労や努力などを、いっぱい知りました！

今日の授業とっても楽しかったです！！この授業でばすけに興味をもてました！高い目標を定めたり、自分の好きなことへの意欲をもったりすることが大切だとわかりました ^ - ^ 中川さんの今までの人生での挫折や特別な経験などを知ることができて本当によかったです

私は自分で物事を判断することができなくて、また、判断をしてもこの判断をして良かったのだろうかと不安になり、後悔をしてしまうので日本一になるために天候を自分の判断で決めた中川さんに憧れます

先日はありがとうございました。とても楽しかったです！バスケットボールについてよく知ることができました！また、努力がどれほど大切なのかを実感することができる、とても貴重な体験になりました！本当にありがとうございました。

バスケの色々な知識やバスケの楽しさが分かりました！
私の目標の「お兄ちゃんにバスケで勝つ！」を中川さんに教わった知識や中川さんの動画を観たりして目標を達成したいです。

私は、バスケをたまにお兄ちゃんとやっていたけど、あんまりうまくいかなかった事があったけど、このチャレンジャーズアカデミーをしてうまくいける事が増えました！教えていただきありがとうございました 😊！

バスケットボールのやり方や、バウンドをしながらじゃんけんをするって言うのが楽しかったです。あとバスケットボールの話をしてくれてありがとうございました。バスケをやるのを、少し興味を持ちました。

教えてくれてありがとうございました。バスケットボールの授業をどうしてなんでも積極的にやるのは、大切だと思いました。

中川先生の昔の話を聞いて自分も将来の夢を諦めず頑張れる気持ちになりました

先生の話をかいて、将来の夢を考えてきます。

自分で目標を決めて、それを達成しようとするのが自分には少し難しいかもしれないので、そういう姿勢になれるのがすごいなと思いました。

体育の授業では、大人と子供で試合をして、楽しかったです。
講義の授業は、小さな目標をたて、それに向けて頑張ればいいという言葉に、頑張ろうと思えました。

悲しかった時や挫けそうになった時は中川あき乃先生の言葉を思い出して気持ちを整えるようにします。

実は私も今、挫折の真っ只中で、正直言って、生きていてもあまり楽しくない、と思ってしまっています。しかも私は人に相談するのが苦手な身分。けれど、中川先生の、挫折からの立ち直りの話を聞いてたまには人に相談するのもいいな、と思えるようになりました。あの話の後に自分なりのまとめをしてみたんですけど、やっぱり今ここに自分という人間がいる限り、つよく生きていかなきゃダメだと思いました。バスケと関係ないメッセージになってしまったのですが、本当にありがとうございました！バスケ楽しかったです！



Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION



この事業は、日本財団、株式会社Maenometryの支援により実施しています。



LIFE IS A CHALLENGE!!

世界を舞台にチャレンジしよう!!



赤坂スポーツクラブ 運営事務局
一般社団法人FELICEスポーツクラブ